

第1回最高裁判所長官公邸の整備に関する有識者委員会 議事概要

最高裁判所事務総局経理局

1 日時

平成21年1月26日(月) 10:00~12:00

2 場所

最高裁判所大会議室

3 出席者

秋山 哲一	東洋大学工学部教授
岡田 恒男	財団法人日本建築防災協会理事長
岡田ヒロミ	消費生活専門相談員
澤田 知子	文化女子大学造形学部教授
鈴木 博之	東京大学大学院工学系研究科教授
土屋 美明	社団法人共同通信社論説委員
深尾 精一	首都大学東京都市環境学部教授

4 議題

- (1) 経理局長あいさつ
- (2) 出席者紹介
- (3) 委員長選出
- (4) 委員会運営要領の議決
- (5) 事務局からの報告
- (6) 意見交換
- (7) 次回の日程

5 意見交換の概要 (○：委員，●：事務局)

[公邸の現状と問題点について]

○公邸としての迎賓機能について、実際の利用形態はどのような状況か。

●主なものとして、年に4、5回程度の招宴が開催され、最大の利用人数は80名程度である。会場、駐車スペースに余裕がないことや、待合いや便所の不足などの問題がある。

- 公邸としての住居機能について、実際の利用形態や人数はどのような状況か。
- 長官の家族構成などにより異なる。
- 竣工時の昭和初期とは生活様式が大きく変わり、現代的な生活を営むには不便であろう。
- 修繕はどのように行われてきたか。
- これまでの修繕は、長官交代の時期と緊急時に行われてきた。
- 外部との通信事情の状況や、現建物の電気容量などの制約について、現状を教えてください。
- 次回委員会で報告したい。

[公邸の機能について]

- パブリックに対する、プライベートな生活部分の尊重が必要である。
- 最高裁として、理想的な長官公邸とは、どのような機能、規模を想定しているか知りたい。
- 公邸機能、住居（私的）機能以外に、準公的な機能の検討も必要である。
- 危機管理の観点から求められる機能もあるのか。
- 次回委員会で報告したい。

[公邸の整備の検討に向けて]

- 長官公邸を、代替地へ移す可能性はないのか。
- 厳しい状況にあるが、次回委員会で説明したい。
- 整備にあたって、仮公邸の検討は行われているのか。
- 何らかの措置が必要であるとの認識はしている。
- 現在の公邸建物の文化的価値について、集中的議論が必要である。
- 現在の公邸建物の移築の検討について、伺いたい。
- 現公邸建物の、歴史的・文化的評価については、次回委員会で報告したい。
- 次回委員会では、今回委員会での議論を踏まえた上で、歴史的・文化的評価や経済性などの検討を行いたい。